

【管理運営状況公表様式】

平成20年度 青森県武道館の管理運営状況

県所管課	教育庁スポーツ健康課
指定管理者	財団法人弘前市体育協会 会長 須藤 惇
指定期間	平18年4月1日～平21年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概 要
武道その他体育・スポーツの普及・振興に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> 本県武道の一層の活性化及び振興を図るため、武道演武フェスティバルを開催。 県民の健康増進・育成を図るため、タレントの佐藤弘道氏を講師に迎え親子体操教室を開催。 県内の中高生を対象に、競技力と知識の向上を図るため、バルセロナオリンピック金メダリスト古賀稔彦氏を講師に迎え柔道教室を開催。
施設の維持管理業務	利用者の快適、かつ安全な利用を図るため、施設等を清潔に保ち、さらにその機能を正常に保持するため適正な管理と建築物等における法令に沿った保守点検等を実施。
自主事業の実施	総合武道施設としての武道館の特色を活かすとともに、競技力の向上と生涯スポーツとしての普及を図り、武道振興の一助とするため、柔道、空手道等の武道教室を開催。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
施設利用者数（人）	H17		235,684	（指定前の実績）	
	H18		232,010		98.4%
	H19		209,812		90.4%
	H20	214,000	206,864	96.7%	98.6%
	H21	206,000			
使用料収入（円）	H17		24,309,950	（指定前の実績）	
	H18	25,400,000	30,434,470	119.8%	125.2%
	H19	25,900,000	25,670,367	99.1%	84.3%
	H20	26,400,000	24,888,755	94.3%	97.0%
	H21	26,892,000			
	H17			（指定前の実績）	
	H18				
	H19				
	H20				
	H21				

【増減理由】

- ・ 施設利用者数における19年度約10%の利用者数減の理由
9・10月の主競技場利用者数の減少（18年度同時期に日展弘前展及び白神キルトフェスティバル開催）
- ・ 使用料収入における18年度当初計画25%増の理由
日展弘前展及び白神キルトフェスティバル開催による使用料収入の増

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	有資格者を配置するとともに、年2回利用者に対し集中的にアンケートを実施し、利用者のニーズ・満足度等を調査するなど、さらなるサービスの向上に努めている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	武道教室等の自主事業の実施及び携帯サイトで施設の空き情報が確認できるようにするなど様々な形で利用者に情報提供し、利用促進を図っている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	施設・設備の保守点検実施計画を基に、適時、適切に保守点検を実施するとともに、備品の総点検を実施するなど備品管理についても適切になされている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	緊急時の対応マニュアルの作成等の体制整備を行うなど危機管理体制が確立されている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	C	指定管理料の執行について、電気の基本料金を見直すなど経費削減に努めているが、支出について一部改善を要するものがあった。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	B	B	県内外の関係団体等に積極的に広報活動を実施するとともに、職員の接客サービスを強化し、利用者のリピート率を上げるよう努めた。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	武道館個人情報保護管理規定を作成するとともに、使用受付票の見直しを行うなど、個人情報の保護に注意を払っている。
総合評価	A	A	一部改善を要するものがあるものの、武道教室等の自主事業の実施及び携帯サイトでの施設利用情報の提供を行い利用促進を図るとともに、電気の基本料金を見直し経費の削減に努めるなど、優れた実績を上げている。

○評価基準

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を要する
- D（不可）：改善や更なる取組が必要